



りすぐみだよ！ ～分園1歳児～

令和6年 3月 1日 発行

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。春ももうすぐそこまでやってきているようです。りすぐみで過ごすのも、早いものであと1か月となりました。りすぐみになったばかりの頃は、保護者の方の姿が見えないと泣いたり、まだ歩行もたどたどしかった子どもたちが、今ではおしゃべりしてやり取りを楽しんだり、友だちと手を繋いで歩けるようになるなど、たくさんの成長した姿を見せてくれています。

1歳児の年間目標である『「自分で」という気持ちを育てる』ということ大切に、1年間子どもたちと過ごしてきました。始めのうちは着脱など「できない」や「やって」ということも多くありましたが、出来ない時には一緒に行いながらやり方を知らせていきました。自分でやろうと頑張っている時には見守ったり、時にはさりげなく少し手伝ったりしていく中で「できたよ」や「自分で」という姿が増えていきました。また、遊びの面でも初めてのことや場に不安を示して泣くこともありましたが、保育者や友だちと一緒に繰り返しやってみる経験をしてきたことで、「やってみたら楽しかった」「できた」という姿が増え、嬉しく感じています。

今後もうさぎ組への進級に向け、自分でできることを増やしていきながら、喜びや自信、意欲につながっていけるように、残りのりすぐみでの日々を楽しく過ごしていきたいと思えます。1年間、至らない点もあったと思えますが、保護者の皆様にはたくさんの保育へのご理解やご協力を頂きありがとうございました。



♪今月のねらい

・「自分でやりたい」という気持ちがふくらみ、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。



♪活動予定

- ・ 戸外遊び（公園や園庭、散歩に出かける）
- ・ 本園交流
- ・ 巧技台遊び
- ・ 製作（のり、クレヨンなど）
- ・ 指先遊び（粘土、シール、ひも通し、せんたくばさみなど）



～楽しかったね！雪あそび～

先月は、東京には珍しく雪が降りました。保育園でも、テラスに出て雪遊びをしたり、室内でたらいの中に入れた雪に触ったりして遊びました。りす組の子どもたちは、雪に興味津々ですぐに触ってみようとする子が多く、手で握って「冷たいね」と言ったり手のひらに乗せて感触を楽しんでいました。その後の散歩でも、路肩に残った雪を見つけると、「ゆき、あったねー」と言って上ってみようとしたり、雪の上を歩いてみたりと余韻を楽しんでいるようです。冬ならではの自然に触れて楽しむ経験ができました。